

第 88 期

中間事業報告書

平成 16 年 4 月 1 日から
平成 16 年 9 月 30 日まで



シロキ工業株式会社



Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした堅調な輸出に支えられ、企業収益が改善するとともに設備投資も増加し、加えて個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調を辿りました。一方海外では、米国が設備投資や住宅投資などの旺盛な民間需要を中心に景気回復を続け、中国などアジア諸国も輸出の伸長や個人消費の持ち直しなどにより、景気回復の順調な動きが見られました。

自動車業界におきましては、国内新車販売は軽自動車が新規格第2世代モデルの投入により好調に販売を伸ばしました。しかしながら、トラック販売の排出ガス規制強化に伴う買い替え特需の反動やコンパクトカーの伸び悩みなどにより、前年同期実績を1.6%下回るものとなりました。一方最大市場である北米の販売は堅調に推移し、なかでも日系自動車メーカーは好調を持続いたしました。輸出につきましては、欧州向けを中心に増加し、この結果、国内生産も国内販売低迷の影響を受けたものの輸出に支えられ、堅調に推移いたしました。

こうした経営環境の中、当社グループは、高品質・高機能・低コストの「世界No.1製品づくり」の取り組みを推進し、顧客に信頼されるシロキブランド向上に努めました。また同時に、製品のグローバル供給体制の構築に取り組み、国際競争力の強化にも努めました。国内事業におきましては、アルミ素材を使用して画期的な軽量化を図った「アルミドアサッシ」や新機構を採用し小型・軽量・低コスト化を図った「8ウエイパワーシート」や「後方格納シート」など、主力製品分野において顧客ニーズに対応した魅力ある新製品を開発し、9月より生産・納入を開始いたしました。また、グループ経営効率化の一環として生産拠点を見直し、宇和島シロキ株式会社（愛媛県宇和島市）での生産を本年8月に取りやめ、生産体制の効率化と強化に取り組みました。海外事業におきましては、中国における日系自動車メーカーの現地生産に対応するため、昨年10月に設立した広州白木汽車零部件有限公司（中国・広東省広州市）の工場建設工事が本年9月に完了し、来年4月の稼動開始に向け本格的な生産準備に入るなど、中国における生産拠点の構築に取り組みました。タイではシロキタイランド株式会社（タイ・アマタナコン市）が本年8月より、得意先自動車メーカーの「世界戦略車」の生産・販売開始に伴い、生産を拡大し、ASEAN地区での生産体制強化に取り組みました。また北米では日系自動車メーカーの積極的な生産拡大に対応すべく、更なる北米生産強化のため、第3の北米生産拠点構築の検討に入りました。

こうした事業展開の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は568億

1千7百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益につきましては、徹底した合理化活動に取り組み収益改善に努めましたが、原材料価格の高騰などにより、営業利益は17億8百万円（前年同期比11.6%減）、経常利益は19億1千2百万円（前年同期比3.2%増）となり、また特別損失として宇和島シロキ株式会社の生産中止に伴う退職給付費用4億4千1百万円などを計上したため、中間純利益は8億1千5百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

なお当社の中間配当につきましては、1株につき2円50銭とさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、堅調な輸出に加え、設備投資などの民間需要の底堅い推移により、景気回復の基調は続くものと期待されますが、原材料価格高騰による世界経済への影響が懸念されるため、景気の先行きは予断を許さないものと思われまます。自動車業界におきましても、今秋より自動車メーカー各社の相次ぐ新型車投入により、国内市場の活性化が期待されますが、先行き不安による消費者心理の冷え込みと原油価格高騰によるガソリン値上げなどの影響が心配されるため、本格的な市場回復には至らないと予想されます。また北米市場も同様に原油価格高騰の影響が懸念されますが、引き続き堅調に推移するものと予想されます。自動車部品業界におきましても、このような厳しい環境の中で自動車メーカーの海外現地生産拡大や部品の世界調達加速などがより一層強まり、部品メーカー各社の生き残りをかけた国際競争はますます激化するものと思われまます。

当社グループといたしましては、総力を結集し、グローバルサプライヤーとして、世界4極市場（日本・アメリカ・アジア・ヨーロッパ）への対応を加速し、更なる成長を目指してまいります。そのため、海外拠点の構築・整備によりグローバル生産・供給体制を確立し、そして「世界No.1の魅力ある製品づくり」によりブランド力を強化するとともに、総原価低減活動の一層の徹底に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月



取締役社長

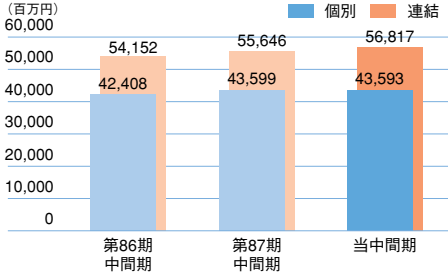
木場 軍司



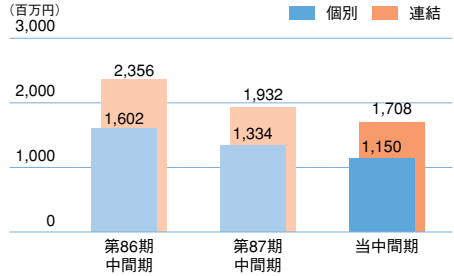
Financial Data

財務データ（中間期）

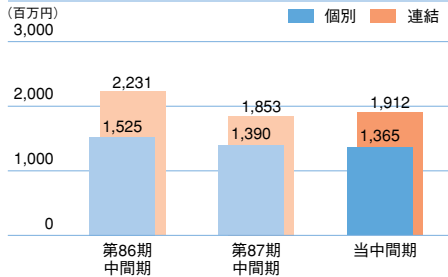
売上高の推移



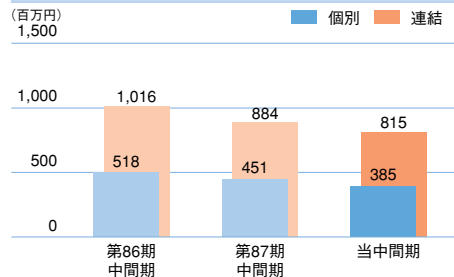
営業利益の推移



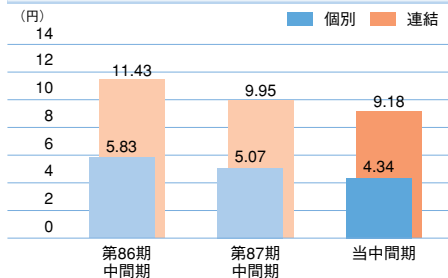
経常利益の推移



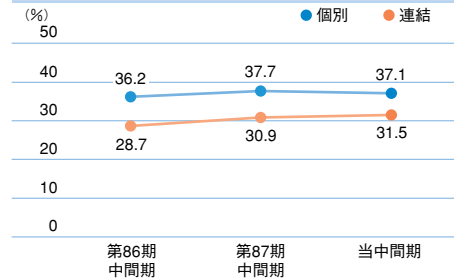
中間純利益の推移



1株当中間純利益の推移



株主資本比率の推移





Our Products

製品紹介



ドアサッシ

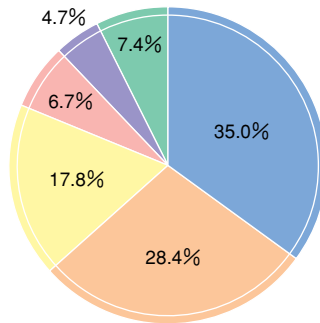


ロック&ヒンジ



モールディング

製品別売上高比率



シートクライナ・シートアジャスタ



ウインドレギュレータ

	シートクライナ・シートアジャスタ		ウインドレギュレータ
	ドアサッシ		ロック&ヒンジ
	モールディング		その他

T-O-P-I-C-S

■ 魅力ある製品づくり ■

当社では、高品質・高機能・低コストの顧客ニーズに対応した魅力ある「世界No.1製品づくり」の取り組みを推進し、顧客に信頼されるシロキブランド向上に努めております。

① 「アルミドアサッシ」

- ・アルミ素材を使用し、従来品に対し30%の軽量化を達成し、国内で初めて量産車に装着されました。日産自動車(株)の高級乗用車「フーガ」に装着されております。



② 「8ウエイパワーシート」

- ・パワー式とマニュアル式の部品共通化を図った低コスト・軽量パワーシートで快適なドライビングを提供いたします。日産自動車(株)の高級乗用車「フーガ」に搭載されております。



③ 「後方格納シート」

- ・床下に格納できる小型・軽量・低コスト化を図ったサードシートです。トヨタ自動車(株)および関東自動車工業(株)より「技術優秀賞」をいただきました。トヨタ自動車(株)のミニバン「アイシス」に搭載されております。





Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期 (平成16年9月30日)	前 期 (平成16年3月31日)	科 目	当中間期 (平成16年9月30日)	前 期 (平成16年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	29,772	31,027	流動負債	29,723	31,595
現金及び預金	4,408	5,692	支払手形及び買掛金	17,472	17,609
受取手形及び売掛金	17,968	18,311	短期借入金	5,588	5,852
たな卸資産	4,155	4,075	一年以内返済予定長期借入金	319	462
前払費用	144	164	未払金	320	17
繰延税金資産	1,017	815	未払法人税等	728	1,131
未収入金	1,215	1,292	未払費用	2,003	1,839
その他の流動資産	866	680	賞与引当金	1,256	1,300
貸倒引当金	△ 4	△ 5	設備関係支払手形	24	91
固定資産	44,786	44,729	設備未払金	1,547	2,525
有形固定資産	37,347	37,437	その他の流動負債	463	765
建物及び構築物	6,944	7,120	固定負債	21,304	21,024
機械装置及び運搬具	19,889	20,550	長期借入金	14,528	14,666
工具器具及び備品	5,021	4,825	退職給付引当金	5,411	4,772
土地	3,010	3,004	役員退職慰労引当金	184	212
建設仮勘定	2,481	1,935	繰延税金負債	53	57
無形固定資産	645	608	長期未払金	1,119	1,313
その他の無形固定資産	645	608	その他の固定負債	8	2
投資その他の資産	6,793	6,684	負債合計	51,027	52,620
投資有価証券	1,046	1,184	(少数株主持分)		
長期貸付金	322	323	少数株主持分	41	49
繰延税金資産	4,820	4,517	(資本の部)		
その他の投資	711	767	資本金	7,460	7,460
貸倒引当金	△ 107	△ 108	資本剰余金	9,699	9,699
繰延資産	-	3	利益剰余金	6,678	6,151
創立費	-	3	その他有価証券評価差額金	92	185
資産合計	74,558	75,759	為替換算調整勘定	△ 409	△ 364
			自己株式	△ 31	△ 42
			資本合計	23,489	23,089
			負債、少数株主持分及び資本合計	74,558	75,759

中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目		当 中 間 期 (平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)		前 中 間 期 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)		
経常損益の部	営業収益					
	営業売上高		56,817		55,646	
	営業費用					
	売上原価	51,207		50,126		
	販売費及び一般管理費	3,901	55,109	3,587	53,714	
	営業利益		1,708		1,932	
	営業外損益の部	営業外収益				
		設備売却益	222		176	
		受取利息・配当金	15		16	
		為替差益	90		-	
その他の収益		98	426	120	312	
営業外費用						
支払利息		108		241		
経常利益	114	222	150	391		
特別損益の部	特別利益		1,912		1,853	
	工場立地助成金	38		-		
	前期損益修正	5		-		
	貸倒引当金戻入益	-		125		
	固定資産売却益	-		0		
	その他の特別利益	10	53	7	132	
	特別損失					
	退職給付費用	784		332		
固定資産除却損	242		83			
その他の特別損失	0	1,027	80	496		
税金等調整前中間純利益		938		1,489		
法人税、住民税及び事業税		562		679		
法人税等調整額		△ 431		△ 78		
少数株主利益		△ 8		4		
中間純利益		815		884		

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当 中 間 期 (平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)		前 中 間 期 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		9,699		9,699
資本剰余金中間期末残高		9,699		9,699
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		6,151		5,210
利益剰余金増加高				
中間純利益	815	815	884	884
利益剰余金減少高				
配当金	222		444	
役員賞与金	66	288	65	510
利益剰余金中間期末残高		6,678		5,584



Non-Consolidated Financial Statements

個別財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間期 (平成16年 9 月30日)	前 期 (平成16年 3 月31日)	科 目	当中間期 (平成16年 9 月30日)	前 期 (平成16年 3 月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	27,524	30,016	流動負債	23,471	25,995
現金及び預金	2,142	3,103	支払手形	11	6
受取手形	871	1,274	買掛金	14,809	15,632
売掛金	16,495	17,098	短期借入金	3,700	3,900
製品	886	811	未払金	263	236
原材料	816	775	未払法人税等	636	1,074
仕掛品	646	620	未払費用	1,187	1,152
貯蔵品	5	4	預り金	48	49
前払費用	80	99	賞与引当金	1,134	1,141
繰延税金資産	738	735	設備関係支払手形	22	89
未収入金	3,133	4,473	設備未払金	1,647	2,649
短期貸付金	2,074	1,252	その他の流動負債	10	64
その他の流動資産	45	12	固定負債	19,875	19,452
貸倒引当金	△ 411	△ 243	長期借入金	14,000	14,000
固定資産	41,412	41,001	退職給付引当金	5,173	4,531
有形固定資産	28,591	29,352	役員退職慰労引当金	184	212
建物	3,989	4,089	その他の固定負債	517	708
構築物	612	628	負債合計	43,346	45,448
機械及び装置	15,990	16,492	(資本の部)		
車両及び運搬具	10	12	資本金	7,460	7,460
工具器具及び備品	4,843	4,611	資本剰余金	9,699	9,699
土地	2,411	2,405	資本準備金	9,699	9,699
建設仮勘定	733	1,112	利益剰余金	8,413	8,301
無形固定資産	578	545	利益準備金	1,327	1,327
ソフトウエア	468	454	任意積立金	4,855	4,509
その他の無形固定資産	110	91	圧縮記帳積立金	59	64
投資その他の資産	12,241	11,103	別途積立金	4,795	4,445
投資有価証券	933	1,065	中間(当期)未処分利益	2,231	2,465
子会社株式	3,976	2,888	株式等評価差額金	48	134
子会社出資金	735	735	自己株式	△ 31	△ 26
長期貸付金	1,418	1,509	資本合計	25,590	25,569
長期前払費用	4	4	負債・資本合計	68,936	71,017
繰延税金資産	4,689	4,411			
その他の投資	558	562			
貸倒引当金	△ 74	△ 74			
資産合計	68,936	71,017			

中間損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目		当 中 間 期 (平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)		前 中 間 期 (平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)	
経 損 益 の 部	営 業 収 益				
	売 上 高		43,593		43,599
	営 業 費 用				
	売 上 原 価	38,067		38,142	
	販売費及び一般管理費	4,375	42,443	4,123	42,265
	営 業 利 益		1,150		1,334
	営 業 外 収 益				
	受取利息・配当金	40		34	
	その他の収益	278	318	277	312
	営 業 外 費 用				
部 損 益 の 部	支 払 利 息	68		178	
	その他の費用	34	102	76	255
	経 常 利 益		1,365		1,390
特 別 損 益 の 部	特 別 利 益				
	前期損益修正益	5		-	
	貸倒引当金戻入益	-	5	198	198
	特 別 損 失				
	退職給付費用	329		330	
	固定資産除却損	242		83	
	貸倒引当金繰入額	167		-	
	子会社株式評価損	-		200	
	投資有価証券評価損	-		11	
その他の特別損失	0	739	28	654	
	税 引 前 中 間 純 利 益		631		934
	法人税、住民税及び事業税		469		622
	法 人 税 等 調 整 額		△ 224		△ 138
	中 間 純 利 益		385		451
	前 期 繰 越 利 益		1,845		1,472
	中 間 未 処 分 利 益		2,231		1,923



Stock Information & Board of Directors

株式の状況（平成16年9月30日現在）

①株式の状況

発行済株式総数 89,003,624株
株主数 7,776名

②大株主の状況（上位10名）

①東京急行電鉄株式会社 25,420千株(28.56%)	⑥シロキ工業持株協力会 2,149千株(2.42%)
②トヨタ自動車株式会社 15,067千株(16.93%)	⑦日本生命保険相互会社 1,923千株(2.16%)
③三菱信託銀行株式会社 3,559千株(4.00%)	⑧株式会社豊栄商会 1,803千株(2.03%)
④株式会社りそな銀行 2,677千株(3.01%)	⑨シロキ工業従業員持株会 1,688千株(1.90%)
⑤日本マスター・トラスト信託銀行株式会社信託口 2,455千株(2.76%)	⑩日本マスター・サービス信託株式会社信託口 1,324千株(1.49%)

(注) () 内は持株比率を表示しております。

役員 の 状況（平成16年9月30日現在）

※取締役社長 木場 軍 司	取締役 小橋 賢 司
※専務取締役 西川 光 昭	取締役 佐竹 史 郎
※専務取締役 大城 英 行	取締役 大橋 敦 志
※専務取締役 伊地知 舜一郎	取締役 上條 清 文
常務取締役 大和田 晃	取締役 百瀬 丈 雄
常務取締役 各務 紘 之	常勤監査役 永石 浩
常務取締役 右田 幸 則	常勤監査役 古川 俊 雄
常務取締役 橋間 義 郎	監査役 池 淵 浩 介
常務取締役 佐野 良 夫	監査役 宮 崎 繁 忠
常務取締役 後藤 和 行	

(注) 1. ※印は代表権を有する取締役であります。
2. 取締役のうち、上條清文および百瀬丈雄の両氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
3. 監査役のうち、古川俊雄、池淵浩介および宮崎繁忠の各氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。



Information

配当金を現払いにて受領されている株主様へ

配当金の口座振込のおすすめ

株主様ご指定の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合）の預金口座または郵便貯金口座にて直接配当金をお受け取りいただけます。

この方法を採用されますと、それ以後はご指定の口座にて自動的に配当金をお受け取りいただけますので、ご利用されることをおすすめいたします。

ご変更手続き用紙のご請求ならびにご不明な点は下記までご照会下さいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

〒171-8508

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル：0120-707-696（土日祝除く 9：00～17：00）

（配当金振込指定書等の各種お手続き用紙のご請求）

フリーダイヤル：0120-86-4490 音声自動応答（24時間受付）

●株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	中間配当実施の場合の株主確定日は9月30日 定時株主総会において権利を行使すべき株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿（実質株主名簿を含む）に記載または記録された株主といたします。 その他必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告して定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞 (貸借対照表および損益計算書は当社ホームページに掲載しております。) アドレス： http://www.shiroki.co.jp/kessan/index.html
株式名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ) (郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-707-696 各種変更用紙のご請求は次のフリーダイヤルをご利用下さい。 フリーダイヤル：0120-86-4490
同事務取次所 上場証券取引所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 東京・名古屋（市場第1部） (証券コード：7243)

当社の企業情報はホームページでもご提供しております。



アドレス：<http://www.shiroki.co.jp>

[主要なコンテンツ]

- IR情報
- 会社案内
- 製品紹介
- ニュースリリース
- 貸借対照表・損益計算書